

航空宇宙・海洋分野に係る 学術の大型施設計画・大規模研究計画 シンポジウム

2013年 2月12日(火) 9:00~18:00

■会 場 日本学術会議6階6-C会議室

(東京都港区六本木7丁目22-34 千代田線乃木坂駅徒歩3分)

■主 催 日本学術会議 フロンティア人工物分科会

■開催趣旨

現在、日本学術会議学術の大型研究計画検討分科会において、我が国の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン2013(以下、マスタープランとする)の策定作業が開始されている。マスタープランは、科学者コミュニティの代表としての日本学術会議が主体的に策定するものであり、学術全般を展望・体系化しつつ、各学術分野が必要とする大型研究計画を網羅するとともに、我が国の大型計画のあり方について、一定の指針を与えることを目的とするものとされている。また、策定においては、会員ないし連携会員や分野別委員会の協力を得るとともに、学協会との連携の必要性が指摘されている。

本シンポジウムでは、日本学術会議全体におけるマスタープラン策定作業にあわせ、フロンティア人工物を構成する航空宇宙・船舶海洋分野の工学領域、及び地球惑星科学との理工学にまたがる領域における大型施設・研究計画について、主要な研究計画に発表の機会を提供することで、関係者の認識の共有を促進し、以てマスタープラン策定プロセスへの貢献を図るものである。

事前申し込み不要。
どなたでも無料で参加出来ます

・連絡先
加持勇介(宇宙航空研究開発機構)
050-3362-7419
kamochi.yusuke@jaxa.jp

プログラム

- 9:00 開会挨拶・趣旨説明
川口 淳一郎(JAXA宇宙科学研究所教授)
- 9:05 学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針とフロンティア人工物分野に対する期待
永原 裕子(東京大学大学院理学系研究科教授)
- 【大型研究計画 提案発表】
- 9:15 動的宇宙ごみ環境モデルの研究
松本 晴久(JAXA研究開発本部宇宙環境グループ長)
- 9:40 宇宙エレベータを目指したテザー衛星の軌道上実証
能見 公博(香川大学工学部知能機械システム工学科准教授)
- 10:05 成層圏エレベータの研究開発
山極 芳樹(静岡大学工学部教授)
- 10:30 ソーラー電力セイルによる外惑星領域探査
森 治(JAXA宇宙科学研究所助教)
- 10:55 小型衛星群による大気圏－電離圏の時空間的観測
小山 孝一郎(台湾国立成功大学教授)
- 11:20 地上－衛星観測による21世紀の地震フロンティア研究
長尾 年恭(東海大学海洋研究所地震予知研究センター長)
- 11:45 超小型衛星の実用化に向けた包括的研究と軌道上実証
中須賀 真一(東京大学大学院工学系研究科教授)
- 12:10 休憩
- 13:10 衛星による全球地球観測システムの構築
福田 徹(JAXA地球観測研究センター長)
- 13:35 海洋システム開発のための実海域総合実験場
木下 健(東京大学生産技術研究所教授)
- 14:00 今の深海探査の限界を超えろ。そして地球生命圏の限界を解明せよ
北里 洋(JAMSTDC海洋・極限環境生物圏領域長)
- 14:25 離島インフラ生産のための海洋深層水複合利用洋上浮体施設
大内 一之(東京大学大学院新領域創成科学研究科特任研究員)
- 14:50 地球生命科学と宇宙物質科学の学際研究施設計画
高野 淑識(JAMSTEC海洋・極限環境生物圏領域)
- 15:15 休憩
- 15:30 長時間滞空型無人航空機システム技術基盤確立と利用分野創生
土屋 武司(東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻准教授)
- 15:55 高速走行軌道試験設備の設置
棚次 亘弘(室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター教授)
- 16:20 将来型航空宇宙機用多目的試験設備
秋葉 瞭二郎(北海道宇宙科学技術創成センター:HASTIC)
- 16:45 宇宙航空機用エアブリーザとFTBの技術実証
苅田 丈士(JAXA宇宙輸送系推進技術研究開発センター 上席研究員)
- 17:10 産学官連携によるサブオービタル宇宙輸送システムの研究開発
米本 浩一(九州工業大学教授)
- 17:35 火星探査航空機の開発
大山 聖(宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授)
- 18:00 閉会挨拶